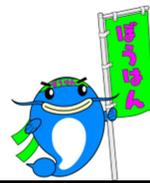


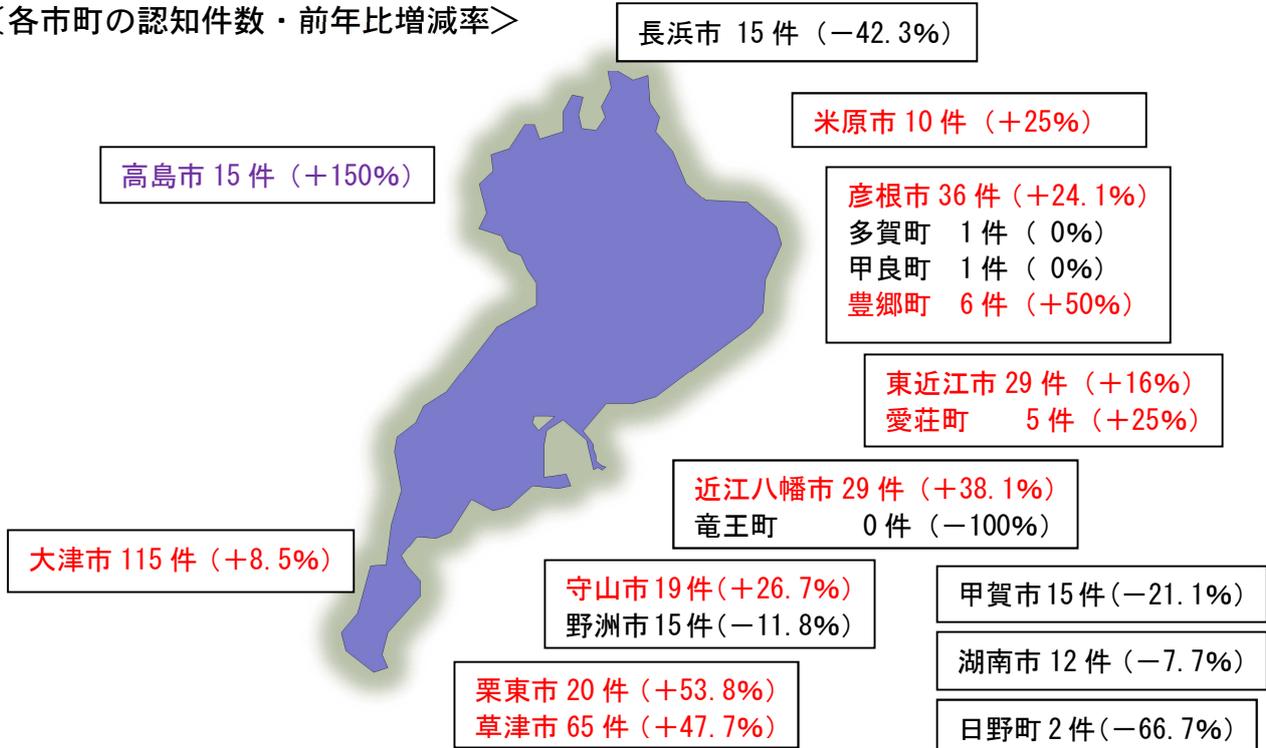
令和4年1月末の犯罪発生状況



令和4年2月15日
(公社) 滋賀県防犯協会

県内の刑法犯認知総数 414件 (前年比+48件 +13.1%)

＜各市町の認知件数・前年比増減率＞



＜犯罪率＞

人口1万人当たりの刑法犯認知件数 (県平均2.9件)

全国平均(3.3件)より高い市町

- ①豊郷町 8.2件
- ②草津市 4.8件
- ③近江八幡市 3.5件
- ④大津市 3.3件

＜前年比・増加犯罪＞

(増加件数順)

- ①万引き 82件 (+28件)
- ②器物損壊 51件 (+22件)
- ③自転車盗 63件 (+7件)
- ④自動車盗 9件 (+6件)
- ⑤部品ねらい 9件 (+4件)

＜15件を超える犯罪＞

- ①万引き 82件 (+28件)
- ②自転車盗 63件 (+7件)
- ③器物損壊 51件 (+22件)
- ④詐欺 27件 (-2件)
- ⑤暴行 23件 (+7件)
- ⑥車上ねらい 18件 (-13件)
- ※侵入窃盗 13件 (-17件)

気になる犯罪(特殊詐欺)

1月中の発生は7件(前年比+4件)、被害総額は約2,096万円(前年比+約1,945万円)。高齢者(65歳以上)の被害は6件(約85.7%)、約1,950万円(約93.0%)となっています。また、2種類(警察官・市役所職員)のアポ電(犯人から被害者に向けられる電話のこと)が多発しています。

▼こんな言葉に気を付けて!

＜警察官を名乗る手口＞

- ①固定電話「あなたの口座からお金が引き出されている」「被害防止のためキャッシュカードを止める必要がある」「警察官がお伺いしますので暗証番号を書いた紙をキャッシュカードと一緒に封筒に入れてください」
- ②自宅にニセ警察官が訪問「封筒に割印をします。印鑑を持って来て下さい」(印鑑を取りに行っている間に封筒ごと別の物にすり替えられる)

＜市役所職員を名乗る手口＞

- ①固定電話「介護保険の過払いがあります」「昨年、申請書を送付しています」「直接金融機関で受け取ってもらうことができます」「近くの金融機関を教えてください」
- ②金融機関を名乗る者「過払いの返還はATMでもしてもらいます」ATMへ誘導して携帯電話でATMの操作方法を教示し犯人の口座に振り込ませる。

※固定電話の詐欺には、防犯電話や留守番電話で「直接話をしないこと」が有効な対策です。